

上下水道料金を知ろう!

上下水道事業は、受益者負担の考えから、主に皆さまからお支払いいただいている水道料金・下水道使用料によって運営しています。

料金の考え方

水道料金・下水道使用料は、「基本料金(基本使用料)」と「従量料金(超過使用料)」で構成され、原則として2か月ごとにお支払いいただいています。

「基本料金(基本使用料)」は固定的にかかる検針や料金収納に要する経費をまかない、「従量料金(超過使用料)」は給水量や排水量に応じて変動する薬品費や動力費などをまかなうものとなっています。

料金のしくみ

「基本料金(基本使用料)」は定額制、「従量料金(超過使用料)」は水の使用量に応じて単価が上がる逓増制となっています。4月から検針票に内訳を記載します。



料金の計算方法

水道料金単価表(2か月分)税抜き

口径 (mm)	基本料金 (円)	専用検				
		第一段階	第二段階	第三段階	第四段階	第五段階
13	1,580	1~20m ³	21~40m ³			
20	2,420	23円	126円			
25	3,140					
30	3,640					
40	6,000					
50	9,000			41~60m ³	61~200m ³	201m ³ 以上
75	20,000			144円	180円	219円
100	35,000		1~40m ³			
150	78,000		126円			
200	138,000					

下水道使用料単価表(2か月分)税抜き

基本使用料		超過使用料(1m ³ につき)				
0~20m ³	21~40m ³	41~60m ³	61~100m ³	101~200m ³	201~400m ³	401m ³ 以上
2,400円	135円	153円	165円	183円	207円	220円

※井戸水をご使用の家庭は個別に水量の認定を行います。

【計算例】水道管の口径が20mmで2か月間の使用水量が50m³の場合

- 水道料金
 - ① 基本料金 2,420円
 - ② 従量料金 (1~20m³) 23円 × 20m³ = 460円
(21~40m³) 126円 × 20m³ = 2,520円
(41~50m³) 144円 × 10m³ = 1,440円 $(① + ②) \times 1.08 = 7,387円$
- 下水道使用料
 - ① 基本使用料 2,400円
 - ② 超過使用料 (0~20m³) 基本使用料に含む
(21~40m³) 135円 × 20m³ = 2,700円
(41~50m³) 153円 × 10m³ = 1,530円 $(① + ②) \times 1.08 = 7,160円$
- 合計
 $(1) + (2) = 14,547円$



上下水道利用開始・中止届出は、インターネットでお申し込みできます。

また、上下水道料金のお支払いは、便利な口座振替をご利用ください。

開始・中止届出は、企業局ホームページのトップページ「水道料金・届出」から行えます。

日立市企業局ホームページ



水道メーターの検針にご協力ください

メーターボックスのまわりに車両や物を置かないでください。犬は出入り口やメーターボックスから離れたところにつないでください。



貯水槽設置者の皆さまへ

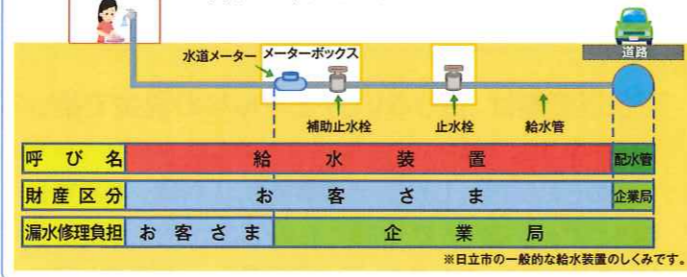
貯水槽設置者の皆さまは、貯水槽の定期的な清掃や点検を行い、適正な管理を行ってください。管理を怠ると水の濁りや臭いの原因となります。

※貯水槽の合計有効容量が10m³を超える場合は、専門機関による検査と貯水槽の清掃を、1年に1回必ず行うことが法律で定められています。



給水装置はお客様の財産です

道路上の給水管を含む給水装置は、お客様が維持管理を行ってください。ただし、一般家庭の水道メーターより道路側部分の漏水修理は、企業局で行います。コンクリートの復旧等の費用はお客様の負担となりますので、ご不明な点は水道課までお問い合わせください。



お問い合わせ内容	お問い合わせ先	電話
料金に関すること(検針、収納、利用開始・中止)	料金課	22-3111
路上・宅地内漏水、水のにごり、凍結	水道課	22-3111
水のおいしさ、水質全般、浄水場の見学申し込み	浄水課	52-3628
マンホールの段差、下水道管の詰まり、悪臭	下水道課	22-3111
下水処理場の見学申し込み	浄化センター	35-3222

日立市企業局広報紙

企業局だより



「日立市すいどう絵画作品コンクール」・「日立市下水道促進週間コンクール」平成29年度入賞作品

2018.2
No.5

水道管の更新工事を進めています

企業局では、東日本大震災の経験を踏まえて、平成25年3月に「日立市水道施設更新計画」を策定し、水道管の耐震化を含めた更新工事を計画的に進めています。

水道管の中でも「第10送水管」は森山浄水場から会瀬配水場までを結ぶ主要管路であり、市が整備を進める「新交通(ひたちBRT)導入事業」にあわせて、ガス管などの関連工事と同時に施工する方法で、事業費の削減を図りながら工事を進めています。

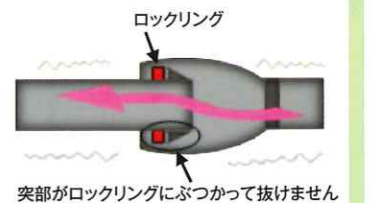
今年度は、JR大甕駅付近のこの線橋や水木町などの区間の更新工事をを行い、管路総延長約19kmのうち、約16kmの工事を完了する予定です。

そのほか、配水場から各家庭の前まで水道水を送り届ける配水管も、市内各所で更新工事を行っています。



更新工事の必要性

地震に強い水道管は、伸縮性や外れにくい継手管などを備え、地震時の地盤変動を吸収する仕組となっています。更新工事は、災害時における水道管の被害を最小限に抑えるとともに、早期復旧を可能とする水道管網の整備を図るものです。



ご迷惑をおかけします
地震に強い水道管に
取り替えています

平成〇〇年〇〇月〇〇日まで
時間帯〇〇:〇〇~〇〇:〇〇

発注者 日立市企業局
受注者 〇〇〇〇



工事中のお願い

工事期間中、騒音や交通規制などで、皆さまに大変ご迷惑をおかけすることになりますが、最小限にとどめるよう努めておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

下水道施設の長寿命化対策工事や耐震化工事を進めています

企業局では、下水道施設の老朽化対策や地震対策など、今後の下水道における基本的な方針や施策の方向性を示した「日立市公共下水道事業総合基本計画」を平成27年3月に策定し、下水道施設の長寿命化対策工事や耐震化工事を計画的に進めています。



下水道管の長寿命化対策工事

下水道管の長寿命化対策工事は、「内面更生」という特殊な工法により、老朽化等によりポロポロになった下水道管を内部から修理・延命化するだけでなく、新品同等以上の流下能力を持った管に戻す工事です。

昨年度までに長寿命化対策工事が必要となり、工事が完了した延長は約1,500mになります。今年度は、東町地内の下水道管(延長:約160m)の工事を進めています。



下水道に油脂分を流すと、下水道管の中で油脂分が冷えて固まり、下水道管を詰まらせてしまう恐れがあります。台所等で使用した油脂分は、拭き取るなどして、下水道に流さないようにご協力をお願いします。

【下水道管渠内部の様子】



下水処理場等の耐震化工事

下水処理場等の耐震化については、昭和48年から運転を開始している池の川処理場の耐震化を平成24年度から進めています。

昨年度までに、A系水処理棟(屋上公園がある建物)などの耐震化が完了し、平成28年5月から屋上公園を一般開放しています。今年度は、管理棟新館の耐震診断を行っています。池の川処理場の耐震化が全て完了するには、約40年かかる見込みです。

あわせて、市内12施設の中継ポンプ場も耐震化する計画を進めています。



ペットボトル水「ひたちの水」を販売しています!



自然豊かな日立市の北部を流れる十王川の水を浄水した水道水をペットボトルに詰めて「ひたちの水」として販売しています。水にくせがなく、さっぱりした味わいです。

◀「いきいき茨城ゆめ国体」「いきいき茨城ゆめ大会」マスコットキャラクターの「いばラッキー」と「ひたちの水」

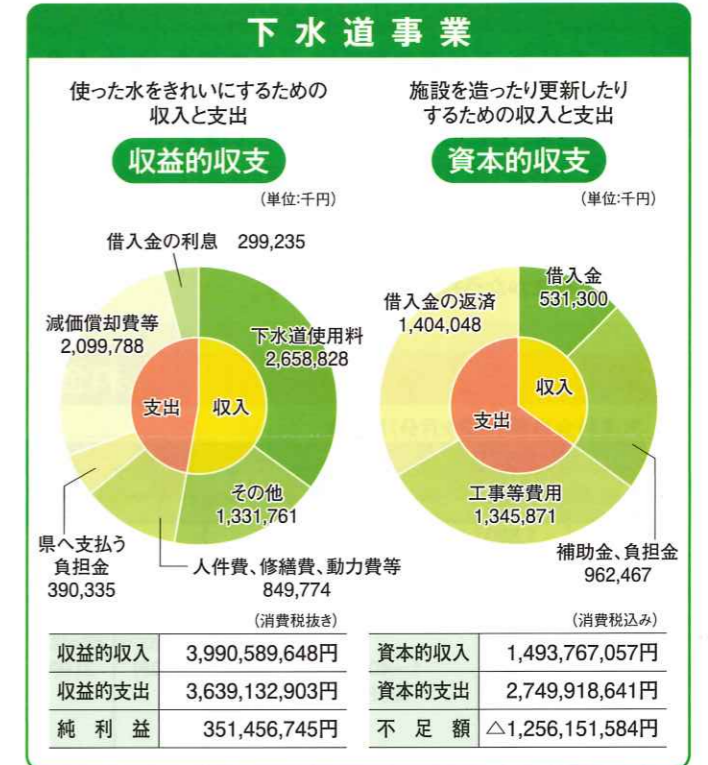
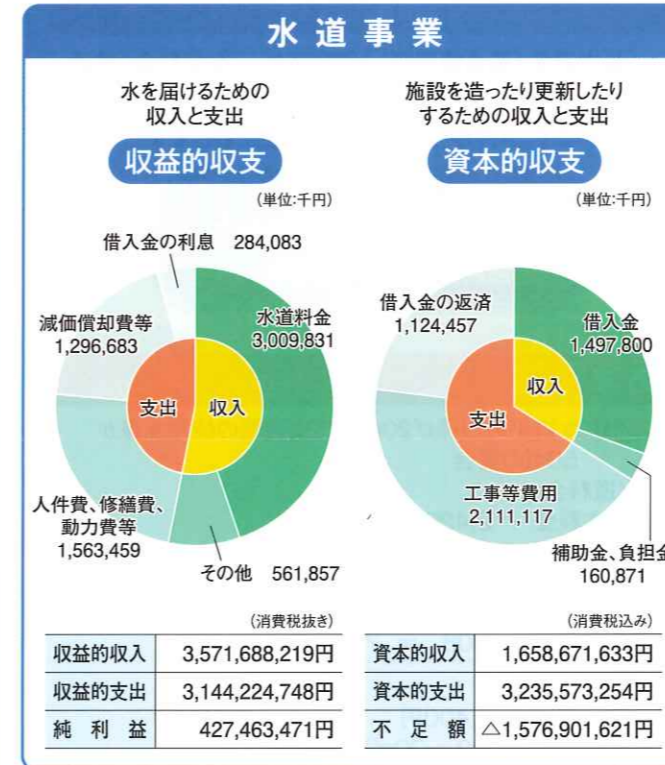
「デザインマンホール蓋」を製作しています!



日立市の大きな観光資源のひとつである「日立風流物」や市の花「さくら」などをデザイン化したマンホール蓋を製作し、日立駅前の歩道部に平成30年3月に設置します。

平成28年度 決算の概要

上下水道事業会計の平成28年度決算が、平成29年9月に開催された平成29年第3回市議会定例会において認定されました。決算の概要は、以下のとおりです。



決算Q&A

資本的収支がマイナスだけど大丈夫なの?

施設の更新や耐震化の工事には、たくさんのお金がかかります。資本的収支の支出には主に借入金や国からの補助金が充てられますが、それにも限りがありますので、収支に不足が生じている状況です。この不足分は、収益的収支とのやりくりで補ったり、これまでの積立金などで補填しています。

しかし、下水道事業においては、収益的収支とのやりくりなどでは不足分を全て補填しきれないため、市からの補助金で補っています。

「上下水道事業経営戦略」を策定します

企業局では、人口減少等に伴う水需要の減少が見込まれる中、経営基盤の強化を図り、上下水道の安定的なサービス提供を継続するため、中長期的な基本計画となる「上下水道事業経営戦略」を平成30年度中に策定します。

今年度は、将来の水需要予測の算出や更新事業費等の再試算を行っています。

下水道事業は、足りない分をみんなの税金で補っているんだね。

そのとおりです。しかし、水道事業も、人口減少などで水需要が減少する一方で、施設の老朽化により更新が増えていく見込みとなっています。下水道事業も、水道事業と同じように、今後は施設の更新が増えていく見込みです。このままだと、必要な工事を行うためのお金が不足して、水道と下水道が使えなくなってしまうかもしれません。

このため、企業局では、今年度から、中長期的な基本計画となる「上下水道事業経営戦略」の策定に着手しています。

上下水道事業における今後の水需要と更新事業量のイメージ

